

8

No.556  
AUG.2017

# 茨城経協

Ibaraki Employers' Association

<http://www.ikk.or.jp> Email [info@ikk.or.jp](mailto:info@ikk.or.jp)

一般社団法人茨城県経営者協会



茨城経協

## CONTENTS

- 01 経営教育委員会視察会を開催  
“徳島県の先進企業から学ぶ”
- 02 委員会報告  
産業政策／労働企画／環境／総務／青年経営研究会
- 04 支部だより  
古河・坂東／常陸・那珂／土浦・石岡・つくば／鹿行／共催セミナー
- 08 新入会員紹介
- 09 いばらきの理解を深める9支部めぐり⑤<葛田一雄>  
「常陸・那珂地区支部」
- 11 NPO情報Vol.202<横田能洋>  
「豪雨災害が続く中で今できること」
- 12 セミナー・事業等のご案内

## 恒例の国内企業視察会を開催 “徳島県の先進企業から学ぶ”

経営教育委員会（委員長 植木誠氏（株）筑波銀行 代表取締役会長）は、7月13日（木）～15日（土）の間、例年恒例の国内企業視察会を開催。本年は“徳島県の先進企業から学ぶ”をテーマに、徳島県所在の①朝日音響（株）、②西精工（株）の2社を訪問した。植木経営教育委員長、煙山弘・経営教育副委員長兼中小企業部会長（日立精錬（株）代表取締役）ほか、事務局含め20名が参加。

初日、昼前の便で羽田より徳島へ向かった一行は、午後に視察先となる“朝日音響（株）”に到着。同社は、産業用無線操縦装置などを製造しており、設計～開発～製造～販売～メンテナンスまでを同社で一貫して行うなど、その技術力は評価が高く“徳島県頑張る中小企業大賞最優秀賞”など多くの賞を受賞している。

当日は同社社長の河野茂美氏、同社取締役の岩佐祥二氏より、会社設立から40周年を迎えたこれまでの会社沿革や、育まれてきた経営理念、多種多様なヒット製品誕生の裏側についてもユーモアを交えながらお話を頂いた後、生産現場等の見学をさせて頂いた。

2日目は、“西精工（株）”を訪問。同社は“日本でいちばん大切にしたい会社大賞中小企業庁長官

賞”など、やはり多くの賞を受賞。また毎朝行われている“朝礼”見学に訪れる来訪者は多く、一行は朝礼見学も行った。同社はナットの製造販売メーカーとして大正12年に創業、鍛造技術による精密機器パーツの製造を得意とする。

朝礼前に、同社社長の西泰宏氏より同社概要、社長就任からこれまでの道のりや経営理念についてお話頂いた後、朝礼見学に移った。社内コミュニケーションを重視し“大家族主義”を実践すべく始められた朝礼は、日毎に変わるテーマをもとにグループに分かれ、討議しそれらを共有する。当日は1時間程で終了したが、テーマによっては1時間を超える議論に及ぶこともあるとのこと。一行は、熱心に意見交換される様子を間近で見て、その場を包む一体感に圧倒された。



朝日音響にて



西精工にて

産業政策委員会

第1回産業政策委員会を開催

産業政策委員会（委員長 鈴木康夫氏（株）小松製作所執行役員生産本部茨城工場長）は、7月3日（月）、経営者協会会議室において、第1回産業政策委員会を開催した。

開催にあたり、鈴木委員長より、「本日は、平成29年度の県政要望案について協議を行うので、会員企業のニーズを的確に反映した県政への提言・要望となるよう、忌憚のない意見をいただき、活発な討議をお願いしたい。」との挨拶がなされた。

議事では、平成29年度の活

動予定、平成29年度会員ニーズアンケート調査結果（回答率30.3%）についての事務局報告後、平成29年度県政要望案についての協議がなされ、出席者からは、

- ①雇用維持・確保
- ②人材育成
- ③人口減少対策
- ④東日本大震災・関東東北豪雨を踏まえた防災対策の強化を求める意見が寄せられた。

県政要望書は、本委員会での修正事項をまとめ、7月28日の第1回政策委員会での承認を経て、11月上旬を目途に茨城県に提出される。



労働企画委員会

第8期「若手の人事労務担当者の勉強会」第2回、第3回会合を開催



労働企画委員会（委員長 家次晃氏（株）日立製作所日立事業所副事業所長）は「若手人事労務担当者のための勉強会」の第2回、第3回会合を開催した。

本勉強会は、会員各社の若手の人事労務担当者が学び合いを通じて、労務管理スキルの向上と同世代の「仲間づくり」を目的として開催するもの。メンバーは32名。

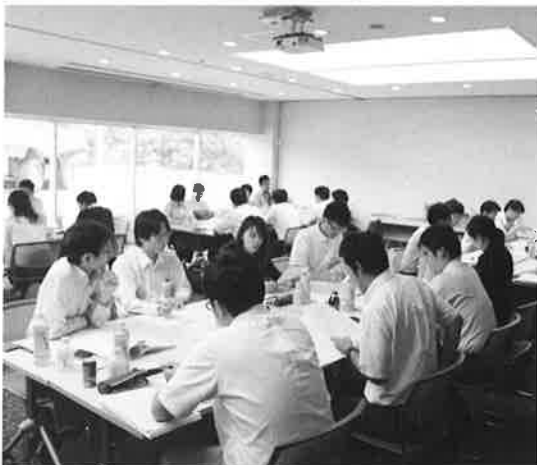
会合を通じて、①人事労務担当者が日常業務で判断に迷うポイントを、参加メンバー同士でディスカッションを行い、他社（他者）

での実務、考え方、解決方法を学び合う、②さらに講師（大和田一雄弁護士、関谷将明弁護士）から労働法、裁判判例等を踏まえた、理想的な労務管理を学ぶことで、トラブルを未然に防ぐ労務管理の確立を目指す。

第2回会合は7月18日（火）、（株）日立製作所水戸事業所を会場に開催。午前、同社水戸事業所の見学を行い、午後からは「メンタルヘルス問題」をテーマに議論を深めた。

第3回会合は8月4日（金）、コマツ茨城工場にて、工場見学ならびに「懲戒処分」をテーマとして学びを深めた。

最終会合となる第4回会合は、9月25日（月）、（株）日立製作所大甕クラブにおいて開催予定。





## 環境委員会

平成29年度 第1回環境委員会、環境行政説明会を開催

環境委員会（委員長 坂井雅紀氏 キヤノンエコロジーインダストリー(株)代表取締役社長）は、7月10日(月)、茨城県産業会館にて本年第1回目の委員会を開催した。委員会では、28年度の事業活動報告と29年度の事業活動計画案について協議がなされた。

本年度の事業活動計画として、環境経営に先進的に取り組まれている企業の見学会、また環境関連のセミナー等を実施していくことを確認した。

委員会終了後には、茨城県生活環境部より、環境行政の重点

施策や留意事項について解説をいただく環境行政説明会が併設され、51名が参加した（テーマおよび講師は下記のとおり）。

①茨城県地球温暖化対策実行計画について

【講師：茨城県生活環境部環境政策課 係長 榎本孝輝様】

②太陽光発電施設の適正な設置・管理に関するガイドラインについて

【講師：茨城県生活環境部環境政策課 係長 海老澤孝法様】

③第7期霞ヶ浦に係る湖沼水質保全計画について

【講師：茨城県生活環境部環境対策課 室長補佐 廣瀬七重様】

④第17回世界湖沼会議（いばらき霞ヶ浦2018）基本計画と基本構想について

【講師：茨城県生活環境部環境対策課 課長補佐 小松崎園子様】

⑤廃棄物処理に関する排出事業者責任の徹底について

【講師：茨城県生活環境部廃棄物対策課 主事 山田紘平様】

⑥県内不法投棄の現状と対策について

【講師：茨城県生活環境部廃棄物対策課 室長補佐 小澤正明様】

⑦茨城県災害廃棄物処理計画について

【講師：茨城県生活環境部廃棄物対策課 係長 吉田信寛様】



## 総務委員会

創立70周年記念事業 会員訪問活動について検討

総務委員会（委員長 坂本秀雄氏 (株)常陽銀行代表取締役副頭取）は、7月13日(木)、経協会議室で第1回委員会を開いた。

委員会では、坂本委員長が「関係者のご協力により会員の数は順調に増加している。それに見合った活動の充実が求められるので、本日も真摯なご検討をお願いしたい」と挨拶。

会務報告の後、事務局より会

員増強活動について、平成29年度37社入会、14社退会で会員数1,140社と当初目標の1,130社を上回る状況報告がなされた。

次に創立70周年記念事業の進捗状況の報告があり、

記念式典で発表があった「企業人が選ぶいばらきの見学スポット（産業編）」についてPRパン



フレットを2種類作成中、また、「経協塾」「いばらき塾」「朝礼見学会」について開催に向けた内容検討を行っている旨の報告があった。

また、第8次中期運営要綱の目指す姿“会員の声に耳を傾け、会員・地域から頼りにされる茨城経協に進化する”を実現すべく、会員訪問活動を強化する旨

の報告がなされた。

最後に出席いただいた委員から業界や自社の状況などについて意見交換を行い、散会した。

## 青年経営研究会

青年経営研究会が総会を開催 併設の講演会に松下政経塾研修局長を招く

**青年経営研究会（会長 杉崎和彦氏 杉崎計器(株)代表取締役社長）**は、7月4日(火)、土浦市のローブにて平成29年度総会を開催、43名が出席した。

総会では、杉崎会長より挨拶を頂いた後、28年度の事業報告&収支決算、29年度の事業計画(案)&収支予算(案)について、協議・承認された。

併設の講演会では、松下政経塾研修局長兼政経研究所長の金子一也氏をお招きし、「松下幸之助の生き方」と題してお話を頂いた。

金子氏は「松下幸之助氏が政経塾の塾生にした講話などの記録から、よく話したキーワードとして“素直”があげられる。松

下氏は生前“素直な心を持てば、融通無碍となる。融通無碍は神様に通ずる”と語られ、これは与えられた条件や環境を良い悪いでなく全てを受け入れるという意味であり、何事にも捉われないことなく物事の真実を見る心が大切で、素直な心になれば私利私欲に捉われることなく物事を見定めることへ繋がり、他人の言葉にも耳を傾け、利害が対立する状況においても、何が正しく何をなすべきか正しい判断と行動がとれる。“素直”であることが、生きる上で大切なことであると説いている」と語り、出席した青年経営研究会メンバーは頷きながら、熱心

にメモをとっていた。

講演後の交流懇親会では、来賓として出席頂いた、茨城県商工会青年部連合会の田中義法会長、茨城県商工会議所青年部連合会の根本暁生会長、茨城県中小企業青年中央会の荒井隆一会長よりそれぞれ挨拶頂くなど、出席者間にて交流を深め、散会となった。



## 支部だより

AUGUST.2017

Branch office report

### 古河・坂東地区支部

平成29年度第1回役員幹事会を開催

**古河・坂東地区支部（支部長 阪好弘氏 京三電機(株)代表取締役）**は、8月2日(水)ホテル山水において、平成29年度第1回役員幹事会（幹事長 小林太志氏 三桜工業(株)総務部長）を開催した。

阪支部長、澤畑専務理事が開会挨拶をし、その後、平成29年度定時総会ならびに70周年記念式典の報告、会員増強運動

の進捗、本年度の支部活動計画(案)について協議検討をした。

本年度の支部活動計画では、「支部総会」、「視察会」「労働法セミナー」、「会員交流会(ゴルフコンペ)」を実施することを確認した。

本年度の支部活動スケジュールは、下記の通り。

①**支部総会（講演会＋懇親会）**  
10月下旬～11月上旬開催予定

※講師・会場は現在調整中

②**視察会 松下政経塾（神奈川県茅ヶ崎市）** 11月開催予定

③**労働法セミナー（3時間+質疑応答30分）**

来年1月～2月開催予定

※講師・会場は現在調整中

④**会員交流会（ゴルフコンペ）**

来年3月開催予定

会場：ひととのやカントリー倶楽部  
（栃木県小山市神鳥谷）

## 常陸・那珂地区支部

茨城グリコ 株式会社 アイスクリーム製造工場を見学

常陸・那珂地区支部（支部長 柳生修氏 コロナ電気(株)代表取締役社長）は、同支部主催による企業見学会を7月19日(水)に開催、16名が参加した。



今年度は「おいしさと健康」をモットーにグリコの主力商品である「ジャイアントコーン」「パナップ」を中心に製造を行っている茨城グリコ株式会社のアイスクリーム製造工場（常陸大宮市工業団地）を見学。

当日は、まず同社の会議室にて代表取締役である林田史朗氏からグリコの歴史、会社概要、

及び消費者が安心できる生産体制（おいしいアイスクリームが出来るまで）についてご説明頂いた。

その後、参加者は工場にておいしいアイスクリームが出来るまでの工程を見学させて頂いた。

参加者からは、「食の安全に対する徹底した管理がなされている」等の意見が寄せられた。

最後に、出来立てのアイスクリームの試食を行い、大変充実した見学会となった。

## 土浦・石岡・つくば地区支部

29年度の支部活動の具体化について協議

土浦・石岡・つくば地区支部（支部長 田淵道文氏 日立建機(株)執行役員専務開発・生産統括本部長）は7月12日(水)、日立建機土浦工場において本年度第1回役員幹事会（幹事長 内田勉氏(株)カスミ監査役）を開催した。

はじめに、澤畑専務理事が「去る6月7日の定時総会、理事会において、本井氏が退任され、新たに田淵氏に当支部の支部長ならびに協会理事にご就任

頂いた。今後支部運営につき何卒よろしくお願ひしたい」と支部長交代について報告をした。

引き続いて、田淵支部長が「ご紹介頂きました通り、先月、前本井支部長から支部長の引継ぎを致しました。役員幹事のみなさまにおかれましては、前支部長同様ご支援、ご協力をお願いしたい。本日は本年度の支部活動について忌憚のない協議をお願い致します」と挨拶をした。

その後の報告協議では、澤畑専務理事より、平成29年度定時総会開催ならびに会員増強運動について報告がなされた。

支部視察会では、11月に日立建機常陸那珂工場内のICTデモサイトを見学することが決まった。

支部総会、行政懇談会については、次回役員幹事会において再度検討することとなった。



## 鹿行地区支部

平成29年度会員懇談会を開催

鹿行地区支部（支部長 太田晃三氏 新日鐵住金(株)鹿島製鐵所副所長）は、8月8日(火)鹿島セントラルホテルにおいて平成29年度会員懇談会を開催、65名が参加した。

開会にあたり、主催者代表挨拶として太田支部長、また本部より鬼澤邦夫会長が出席され、挨拶がなされた。その後、講話会を開催し、「神栖市周辺における治安情勢」と題し、神栖警察署の浅野芳徳署長に講話を頂いた。

浅野署長からは、「長きに渡り、地域住民から要請のあった神栖警察署が4月1日によろや

く開署できました。今後、神栖市の治安維持には、より一層尽力していく所存です。本年度の事件・事故発生状況としましては、減少傾向にあります。また、来署いただいた100名を対象にアンケートを実施したところ、当署をご評価いただいていることも知ることができ、非常に励



みになっている」など、講話をいただいた。

講話終了後には、6人1グループでディスカッション（名刺交換、自己・自社紹介、講演の感想やその他情報交換等）を挟み、その後、懇親会を開催し、参加者相互の親睦を深め散会した。

## 鹿行地区支部

鹿行地区支部労働問題研究会が平成29年度第1回例会を開催

鹿行地区支部（支部長 太田晃三氏 新日鐵住金(株)鹿島製鐵所副所長）の労働問題研究会（座長 永松才寛氏 新日鐵住金(株)鹿島製鐵所 労政人事室長）は、7月27日(木)鹿島セントラルホテルにおいて平成29年度第1回例会を開催し、同研究会の年間活動計画について報告した。

その後、講演会が行われ、北海道日本ハムファイターズ元一軍ヘッドコーチの阿井英二郎氏より「なぜ、北海道日本ハムファイターズは強いのか～チーム全員が活躍する組織づくり～」と題するテーマで25名が聴講した。

阿井氏からは、「部下や後輩等が管理職やリーダークラスから受ける一言は非常に重い。よって、思いつきやその場しの

ぎの発言は禁物である。また、自身はきちんと説明し、伝えたつもりになっていても、受け手の行動や言動が伴わず、怒っ

てしまったことはないか。それは、中身を理解できなかった受け手の責任ではなく、自身の責任であるということ。また、「信用」と「信頼」の違いは明確で、部下や後輩には、どこまでも「信頼」をすることが非常に重要である。人間関係を構築する上では、「信頼されること」がスタートラインである」など、解説を



いただいた。

講演会終了後には、6人1グループでディスカッション（名刺交換、自己・自社紹介、講演の感想やその他情報交換等）を挟み、講師を交えての懇親会を開催し、メンバー相互の親睦を深め散会した。



## マナーアップ&クレーム対応力強化セミナーを開催

当協会は、全支部共通で「マナーアップ&クレーム対応力強化セミナー」を6月27日(火)茨城県産業会館にて開催し、合計66名が参加した。

本セミナーの講師には、人財教育やサービスレベル調査を得意とする(株)EMMY(エミー)代表取締役の渡辺満枝氏を講師と

してお招きした。

研修内容では、挨拶・姿勢・服装・身嗜み・言葉遣いなどの一般的なマナーに加えて、電話対応・来客対応・案内誘導の仕方・訪問マナー・名刺交換・お茶の出し方・席次などの多種多様なビジネスマナーを、ロールプレイやグループディスカッ

ション通して行った。また、実際にクレームが起きた場合に使用したい言葉と使ってはいけな

い言葉、身近なクレーム事例や悪意のあるクレーム事例などを挙げながら、クレームへの対応の仕方についても指導いただいた。

受講者からの意見(アンケートより抜粋)として「社会人の心構えから始まり、挨拶・身嗜み・電話対応・お茶の出し方など、自分では理解しているつもりでしたが、不足していた部分が多々あり、今後役に立つ研修でした」「講師自身の経験に基づいたクレーム事例を具体的に説明していただき、相手の想いがどこにあるのか、相手の心情を良く理解することが重要だと分かりました」などの意見が寄せられた。



## 職場リーダーグレードアップセミナーを開催

当協会は、全支部共通で7月5日(水)、茨城県産業会館にて「職場リーダーグレードアップセミナー」を開催した。参加者人数は60名。

本セミナーでは「部下のやる気と企業の活力を高めるノウハウ～部下育成のコーチングとメンタルヘルスマネジメントなどを学ぶ～」と題し、毎年受講生から好評の(株)ビジネスラポール代表取締役の鈴木丈織氏より指導いただいた。

セミナーの内容は、午前中に「リーダーの自覚・役割・心構

え」「コーチングのポイントとテクニック」などを講義で学んだ後、午後には、グループディスカッションを行い、部下育成の課題等を共有しグループ事に発表した。

参加者からのアンケートでは「リーダーシップということを心理・精神的な面での研修を受けることができ、気付きが多い内容であった。心理学からのマネジメントが非常に新鮮で参考になった」「異業種のリーダーの方々と意見交換ができ、自分に足りない部分を知ることがで

きた。挨拶+一言を実践し、部下とのコミュニケーションを深めていきたい」など、講師からの講義やグループディスカッションから認識を深めた参加者がいた。





## 茨城労働局長から感謝状 水戸京成百貨店元常務取締役 中村雄一郎氏に授与されました

茨城地方最低賃金審議会委員として労働行政の推進に寄与された功績を評価され、中村雄一郎氏に西井茨城労働局長から感謝状を授与されました。

中村雄一郎氏は平成25年4月から茨城地方最低賃金審議会の使用者代表委員として茨城県最低賃金（地域別・産業別）の改定審議に積極的に協力し、最低賃金の決定に貢献されました。



### 新入会員紹介

#### タカラスタндарт 株式会社 水戸支店

■支店長 野口 純平



**Data** 所在地／水戸市けやき台3丁目  
24  
TEL／029-248-3211  
業 種／住宅設備機器の製造・  
販売  
従業員／34名  
(水戸支店のみ)

Appeal point

当社は、1912年にわが国のホーロー工業の  
パイオニアとして創立され、1962年には世界  
最初のホーローキッチンの開発に成功するな  
ど、常に『高品位ホーロー』を駆使した住宅設  
備機器を提供することにより、生活の向上と社  
会の進歩に貢献してまいりました。水回り製品  
に最適な素材である『高品位ホーロー』を生か  
した商品や、業界最多を誇る全国172ヶ所の地  
域密着型ショールームを軸に、今後も、顧客満  
足度の高い独自性のある商品・サービスを適正  
価格で提供して、皆様の家庭生活・社会生活の  
質の向上に貢献してまいります。

#### 三菱日立パワーシステムズ 株式会社 日立工場

■執行役員タービン技術本部副本部長兼日立工場地域統括 福田 寿士



**Data** 所在地／日立市幸町3-1-1  
TEL／0294-55-0111  
業 種／電気機械器具製造業  
従業員／2,400名

Appeal point

1930年(昭和5年)に国産技術の確立をめざ  
し創設以来、「フロンティアスピリッツ」を連綿  
と具現する役割を果たす一方、高度な技術と確  
かな技能、最新鋭の設備をもって数多くの製  
品を世に送り出してきました。2014年2月  
には、三菱重工業(株)と(株)日立製作所の火力発電シ  
ステムの事業を統合し、三菱日立パワーシス  
テムズ(株)を設立。人々の生活環境を豊かにするさ  
まざまな製品を通じて社会に貢献すべく「挑戦」  
を続けています。

# いばらきの理解を深める9支部めぐり (第5回)

葛田 一雄

## 常陸・那珂地区

経営者協会の常陸・那珂地区支部の支部長は柳生修氏である。同氏は、ひたちなか市所在コロナ電気(株)代表取締役社長として経営の陣頭指揮にあっている。同社の社是は、「学ぶ。楽しむ。育む。」である。「学ぶこと、楽しむこと、この二つがエネルギー源です。学ぶことは、たんに知識や技術を高めることだけでなく、人間や自然、またその時代から学び取ることが大切と考えます。また楽しむことは、挑戦することのおもしろさ、楽しさを毎日の仕事の中で実現していくことです。私たちはいま、発展するマイクロエレクトロニクスの応用製品として、とくに医療機器、理化学機器、電気計測器や特殊電源装置などの開発、製造、販売をしています。独自のノウハウ、独創性に富んだ技術と評価される私たちの製品は、いろいろなことから学ぶ姿勢と、楽しむことを発見して行くことを大切にしてきた結果であると言えるでしょう。」、これが社是のステートメントである。

### 1. 経営者協会会員が果たす役割

同社のステートメントは、経営者協会会員が果たす役割に符合するのではなかろうか。①経営者として会社ぐるみで成長のために学びを得る。②仕事をすることに楽しみを見出す。③地域の技術のみならず文化を育んでいきたい。

経営者協会の支部会員は、自社の成長はもとより、地域の経営者集団として運命共同体であり、地域の技術や文化を育んでいく使命あるいは責務がある。それゆえに、地域から信頼されていて、経営品質が高いことを証明するブランディングが支部会員である。

そこで、常陸・那珂地区に関わりのある技術や文化を育んだ先人の業績を振り返り、論語から学びを得たい。「温故而知、可以為師矣」、古い事柄も新しい物事もよく知っていて初めて人の師になるにふさわしいことを意味する。

### 2. ひたちなか市と先人

ひたちなか市は、県北部の市である。旧勝田市は日立製作所の企業城下町として発展した工業都市、水戸市のベッドタウンであり、郊外型店舗が進出しているし、旧那珂湊市は水産業が主な産業である。

まずは、伝統工芸水戸彫りである。磯崎美重(1884年～1949年)は、東京美術学校に学び、後に帝展審査員となる。次に、甘藷切干の普及に尽くした人物である。大和田熊太郎(1865年～1934年)は、県の特産品「ほしいも」の基礎づくりに貢献した。白土松吉(1881年～1956年)は、さつまいも増産の功労者であり、食糧難の時代に大きく貢献した。そして、漁業である。根本惣三郎(1846年～1923年)は、近代漁業のさきがけの人物である。さらに、横綱稀勢の里や大関高安人気につながる相撲界の先人がいる。高橋金太郎(19代式守伊之助 1886年～1966年)は、身長152cmと小柄ながら俊敏な動きで「髭の伊之助」と親しまれた名行司であった。

### 3. 常陸太田市と先人

常陸太田市は、県東北部にある。南北に長い市域を持ち、面積は県の自治体最大である。旧常陸太田市街は、周辺の中山間地域を後背地に旧久慈郡南部の商業中心地として発展した。

自治の振興に尽くした人物がいる。梅津福次郎(1858年～1942年)は教育・公共の事業に寄与した。葉たばこの栽培技術に貢献した人物が岡崎熊治(1874年～1935年)である。葉たばこの一大産地赤土村が培ってきた技術を高め品質の向上に尽力した。「水道こそわが使命」を全うした人物がいた。片岡倉吉(1867年～1931年)である。太田町に水道を敷設するために使命感に燃えて尽力した。木村謙次(1752年～1811年)は、幕府の命によりエトロフ(旧樺太)探検に同行した探検家であり、蒟蒻栽培、凍みこん製造に尽力した。

また、「膳写印刷の神様」がいた。草間京平(1902年～1971年)である。簡易印刷手段であった膳写印刷を芸術の域まで高めて、「孔聖」の異名をとった。そして、日本酪農の父と称された人物がいた。黒沢

西蔵(1885年～1982年)は、酪農経営と乳製品製造販売に腐心し、「雪印」ブランドを確立した。

さらに、近代医学の発展に寄与した人物が佐藤進(1845年～1921年)である。人間愛の精神を貫き、後に順天堂医院院長に就任した。渡辺覚造(1891年～1972年)も病院に関りがある。厚生病院(国立水戸病院の前身)の開設者であり、茨城原子力開発協議会を創設し、会長として当時全国唯一の原子力県であった本県の原子力平和利用に力を注いだ。

#### 4. 常陸大宮市と先人

常陸大宮市は、県の北西部、八溝山地の東麓に位置し、面積の6割が森林及び原野である。市名は、旧大宮町下町に位置する甲神社の尊称「甲大宮」に由来する。市の東部を久慈川が北から南へ流れ、中心の大宮は南郷街道の宿場町として、久慈川の水運を利用した交易の拠点として栄えた。

水戸藩出身者で唯一の伯爵となった人物がいる。香川敬三(1841年～1915年)である。戊辰戦争で官軍の要職に就き、後に皇后の側近である皇后宮大夫に任ぜられた。また、販路の拡大に功績を残した人物がいる。中島藤衛門(1745年～1825年)は、蒟蒻芋を薄く切って乾燥させ粉末状にして日持ちさせ、軽量化して遠隔地までの輸送を可能にした。さらに、灌漑用水の建設及び維持管理にあたった一族がいた。永田一族(茂衛門、円水、八郎兵衛 寛永年間末期)である。

#### 5. 大子町と先人

大子町は、県の北西部に位置する奥久慈地域の中心にあたる。日本三大瀑の一つ「袋田の滝」がある。温泉やリンゴ狩りの地として有名であり、和紙原料のコウゾ「那須楮」でも知られる。

奥久慈りんごの創設者が黒田一(1899年～1996年)である。作付統制令の解除された昭和23年にりんご生産を開始した。櫻岡敏(1855年～1912年)は、馬の良種の繁殖を主眼とする組合を設立し、後に大子地方産馬組合を創立し組合長になり、久慈郡産馬組合の初代組合長として地域産業振興に寄与した。

さらに、日本古代文学史の重鎮がいた。肥後和男(1899年～1981年)である。「日本神話研究」を始めとした多くの著書があるが、「茨城県史研究」等の研究論文を残し、大子町史編纂事業にも顧問として活躍した。

#### 6. 那珂市

那珂市は、県北部にある。水戸市やひたちなか市のベッドタウンでもある。

健康食品会社を創業した人物がO・D・ビクスラー(アメリカ合衆国 1896年～1968年)である。1922年に常陸大宮市内長沢に転居して伝道を開始するとともに当時の農村の栄養状態を憂いて乳製品などを製造する会社を創業した。後に、那珂市額田の戦災孤児養育施設「チルドレンズホーム」を開設し、日立市のシオン学園(現茨城キリスト教学園)創始者のひとりとして青少年教育にも功績があった。さらに、青少年の健全育成には根本正(1851年～1933年)も関わっている。同氏は、水郡線の全線開通にも貢献した。

また、村松茂清(1608～1695)は、数学の教科書を著し、日本で初めて円周率を計算した数学者である。

#### 7. 城里町

城里町は、県の西北部にあり、水戸城の北に位置する。「城北地区」と呼ばれていたことと、各町村に「ふれあいの里」「うぐいすの里」「山びこの郷」があったことから「城里」と命名された。

黒澤登幾(1806年～1890年)は、日本初の小学校女性教師である。死の間際85歳まで子弟の教育に尽力した。

#### 8. 東海村

東海村は、県北部の村、那珂郡に属する。日本国内で原子力の火が灯った最初の村である。1957年に日本原子力研究所(当時)東海研究所が設置され、日本最初の原子炉であるJRR-1が臨界に達して以来、多くの原子力関連施設が集積した。

温故而知、可以為師矣は、孔子の言葉であり、ここから生じた四文字熟語が、「温故知新」(ふるきをたずねて新しきを知る)である。昔の物事を研究し吟味して、そこから新しい知識や見解を得ることをいう。地域を愛し、地域の技術あるいは文化を育ててきた先人の知恵や功績は経営者協会のエネルギーとなり得るのではないだろうか。



## NPO情報

NPO information

Vol.202

# 豪雨災害が続く中で今できること

茨城NPOセンター・コモンズ 代表理事 横田 能洋

私はこの先月、全国各地の被災地に足を運びました。昨年秋に強い地震があった鳥取県中部では未だにブルーシートの家が目立ち、その後に訪問した福岡県朝倉市や大分県日田市は大量の土と流木が川沿いの家や畑に流れ込み大変な状況でした。常総の時と異なり市役所が被災したわけではなく、社会福祉協議会の仲介による泥出しボランティア以外の動きが少ないようでした。泥出しニーズだけを見ていくと8月でボランティアセンターが閉じてしまいそうでしたが、常総が未だに復興に向けて取り組んでいるように、NPOと自治会などの連携による息の長い被災者支援や次の災害に備える活動が重要だと改めて感じました。

そのような課題意識から最近、コモンズが取り組んでいる活動を3つ紹介します。一つは障害がある人も参加した「避難所」や「防災倉庫」の点検です。みなさんの職場や居住地の指定避難所のトイレがどうなっているか、どんな災害用物資があるか確認してみてください。近所の学校には物はまだ何もなくて、前回の水害では指定されているのに避難所になりませんでした。学校のトイレは殆ど和式で高齢者や車椅子の人はこのままでは来られないことが実際に見て分かりました。行政任せではなく、避難する人、自治会、学校、地域の事業所が協力し安心して避難できる場を作る取り組みが大切です。二つ目は親子防災教室です。生協と共催

した教室では、電気や水が使えない家でどうすればいいか考えたり、手回し充電器、エアーマット、災害用トイレを体験したり、お湯だけでご飯や焼きそばを作るなどの講座を行いました。楽しく防災を学べる催しも各地で開催していきます。当会は常総の被災経験を踏まえたオリジナルの防災パックを商品化し、豪雨災害に備えるガイド(16頁)も作成しました。この売り上げの1割を九州の豪雨災害被災者宅で床下の泥出しを続けているNPOに寄付します。地域避難所整備と訓練、防災教育、防災パックやガイドの普及に共に取り組んでいただける企業を募っています。ぜひコモンズにご連絡ください。





# セミナー・事業等のご案内

＝詳細は、事務局までお問合せください＝

セミナー名	日時	テーマ・内容	講師	会場
第2回 総務担当者向け 研修会	8月23日(水) 8月30日(水) 13:30～17:00	(第1講) ・総務部門が期待される役割と業務範囲 ・多様な庶務的業務の守備範囲とは ・個人情報保護法改正対応 ・人事・労務管理の基本事項	葵経営 代表社員 皆川 雅彦氏	茨城県産業会館 大会議室
	全2講受講 9,000円 1講受講 5,000円	(第2講) ・人事・労務の応用テーマ ・人事制度構築と人材育成の企画		

## 【お問合せ先】

一般社団法人 茨城県経営者協会

〒310-0801 水戸市桜川2丁目2番35号 茨城県産業会館11階

TEL 029-221-5301 FAX 029-224-1109

ホームページ <http://www.ikk.or.jp> Eメール [info@ikk.or.jp](mailto:info@ikk.or.jp)



心を込めて、信頼できるカーライフ  
**茨城トヨタ**

**CROWN**  
"ATHLETE"  
SERIES



クラウン アスリート

**茨城トヨタ自動車株式会社**

水戸市千波町1887 〒310-0851

TEL 0120-090110

<http://www.nakama-online.jp/>

Drive Your Dreams. 人、社会、地球の新しい未来へ。



# 地域のために 未来のために

筑波銀行は、より充実した金融サービスのために。

そして、もっと豊かな日々の暮らしのために。

地域エリアの皆様とともに、

未来に向かって力強く前進いたします。



筑波銀行は地域復興支援プロジェクト「あゆみ」に取り組んでいます。

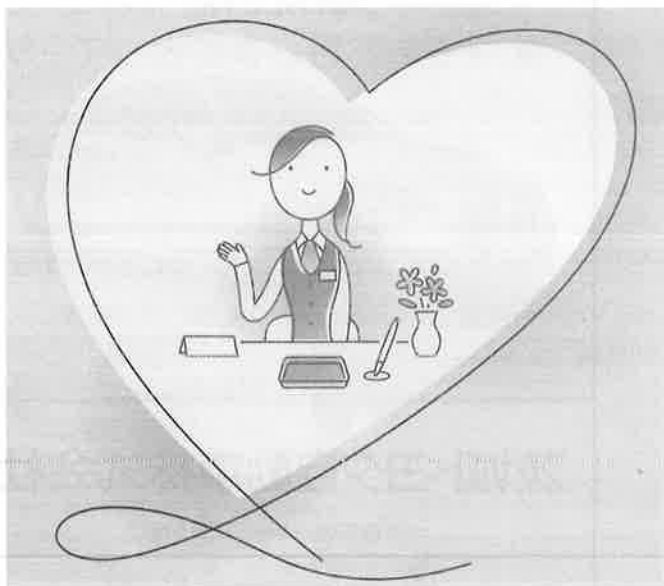


<http://www.tsukubabank.co.jp>



 筑波銀行  
Tsukuba Bank

## 人に優しい銀行をめざして



常陽銀行はどなたでも  
ご利用しやすい銀行を  
めざしています。

 常陽銀行

 MEBUKI  
めぶきフィナンシャルグループ

NEW

# 生産性向上支援訓練で

従業員の

# 生産性アップ!

平成 29 年 4 月「生産性向上人材育成支援センター（生産性センター）」を開設いたしました。  
企業が成長するためには「人材育成」が必要。それはわかるけど、時間もお金も  
教えられる人もいない…。そんな声に、ものづくり分野の訓練（能力開発セミナー）、  
生産性向上に関する課題に対応した訓練（生産性向上支援訓練）、講師の派遣で応えます。



## こんなとき、生産性センターが研修をご提案します

座学と演習を組み合わせ、効果的な研修をご提案します。

現場の問題を発見し、  
解決できるスキルを  
習得させたい

IoTやクラウドを活用し  
たいけど、何をすれば  
いいのかわからない

企業力・リスクを  
強化したい

売上を伸ばしたい

流通・物流

生産管理※

品質保証※

IoT

クラウド

ナレッジ  
マネジメント

知的財産権

個人情報

営業・販売

マーケティング

プロモーション

### 訓練時間 12～30 時間

例えば、6時間×2日、4時間×3日など  
土日祝や夜間もOKです

### 受講料（税込）

12～18 時間コース **5,400 円/人**  
19～30 時間コース **6,480 円/人**

### 会場 自社会議室でもOK

外部研修施設などご要望に応じて可能です

生産性センター（機構）が民間の  
機関に委託して実施します

### 人材開発支援助成金

訓練を活用して研修を行うと、訓練経費や訓練期間  
中の賃金の助成を受けることができます。  
詳しくはお申込前に、各都道府県労働局または  
生産性センターにお問い合わせください。

[事業主団体のみなさまへ]

事業主団体が会員企業の生産性向上に取り組むため、1コース当たり20名以上で訓練を実施  
する場合、この訓練を事業主団体（要件があり  
ます）に委託して実施することもできます

※中堅・管理者向け

生産管理、品質管理、原価管理セミナー

ポリテクセンター茨城の能力開発セミナーでも  
実施しています。詳しくは WEB をご覧ください

ポリテク茨城 能力開発セミナー

検索

### 【お問い合わせ】

- （独）高齢・障害・求職者雇用支援機構茨城支部 水戸事務所  
TEL 029-221-1188（代表）  
水戸市城南1-4-7 第5プリンスビル5階
- ポリテクセンター茨城  
TEL 0297-22-8819（直通）  
常総市水海道高野町591

(29.7)

## 経営労務相談(無料)のご案内

当協会では経営労務相談の機能を強化し、会員企業様が抱える経営課題の解決に向けたサポート体制を整えております。

協会の顧問弁護士、社会保険労務士、税理士、経営コンサルタント等の各分野のエキスパートが様々な経営課題の解決に向けたアドバイスを致します。

**開催日** 毎週木曜日 ①10:00~12:00  
(祝日は除く) ②14:00~16:00

**会場** 経営者協会・相談室  
(水戸市桜川2-2-35 茨城県産業会館11F) 水戸駅南口より徒歩5分。

**申込方法** 下記TEL・FAXまたはE-mailにて各開催日の2日前までにお申込み下さい。

### Flow chart

**賃金関係** 未払い残業代を請求されたがどのように対応すればよいのか?

**労働組合** 従業員の一人が加盟した労働組合から団体交渉を申し入れられた。交渉にどのように向かえばよいのか?

**助成金制度** 人員整理を回避するためにはどのような方法があるのか? 活用できる助成金制度について教えて欲しい。

**人事労務** 人事制度の変更を行うとしたが、従業員から不利益変更ではないかと訴えがあった。

**精神疾病** メンタル不全の従業員がトラブルを起こしたがどのように対応すべきか?

**その他** 事業承継の問題、資金繰りの問題、経営に関する課題全般の悩みについて。

人事労務相談室  
が総合窓口  
(ワンストップ)

課題解決に最適な  
専門家をご紹介します

協会・顧問弁護士  
清水謙弁護士  
大和田一雄弁護士

社会保険労務士

税理士

経営  
コンサルタント

その他  
各専門家

お問い合わせ:一般社団法人茨城県経営者協会 事務局(後藤)  
TEL:029-221-5301 FAX:029-224-1109  
E-mail gotou@ikk.or.jp